

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和8年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
16201富山市	①学校運営上の課題	02 社会に開かれた教育課程への対応	地域人材を活用した教育活動の推進において、委員の主体的な参加、人材バンクの充実、地域と学校をつなぐ地域コーディネーターの確保等に課題がある。	学校運営協議会の在り方について研修会を開催し、実際の取組事例を聞き協議し、そこで得た知識や情報を、自身の地域や学校の取組に生かしていけるようにしていく。	学校関係者、運営協議会委員や地域の方に参加を促し研修会を開催した。学校運営協議会制度への理解を深め、委員同士の意見交換の場を設けたことで各学校運営協議会の横のつながりをつくるきっかけとなった。	研修会等を通して学校運営協議会委員同士や地域とのつながりを深め学校教育活動と地域学校協働活動の連携を促進していく。	R6研修会参加者アンケート(108人回収)「コミュニティ・スクール、地域学校協働活動を一層推進しようと思ったか」⇒「大いにそう思う」「そう思う」の回答	97	%	95	95	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた 現在、学校と地域をつなぐコーディネーター的な役割を担っている委員から、具体的な実践事例についての話を聞き、近隣の校区に分かれ意見交換を行った。各学校同士でつながりを深めるきっかけとなった。次年度も継続的に研修会を行い、内容等を検討していく。